

全国学力学習状況調査の取り組み事例(豊後大野市立緒方中学校)

学力向上プランの概要

- ①達成指標として、各種テストにおいて、全教科4割以下の生徒数15パーセント以内。各種学力調査において、全教科偏差値「50」をめざす。
- ②検証指標として、学期ごとの生徒授業アンケートで、「授業の終わりに、できた、わかったと思い、次の授業も頑張ろうと意欲がもてる」生徒90%以上。学期ごとの生徒授業アンケートで「グループやペアで学習すると、友だちの意見や考え方が参考になり、授業の内容がわかったり、できたりする」生徒90%以上。

効果あると考え行っている取り組み事例

- ① 組織的な授業改善の取組として
 - ・「めあて」「課題」に即した「振り返り」「まとめ」を設定し、学びの実感から次の学習意欲を喚起させる取り組みを行った。
 - ・自分の考えをもたせ、それを交流し、見方・考え方の広がりをもたせる取り組みを行った。
- ② その他の学力向上に向けた指導の取組として
 - ・朝学習は各学年に応じた取り組みができた。放課後スキルタイムは行事予定に組み込み、計画的に実施できた。どちらとも、生徒たちは落ち着いて学習に取り組んでいる。
 - ・生徒会文化図書部の活動と連携して、読書の呼びかけができた。
 - ・学年初めに家庭学習の手引を配布した。定期テスト前には再度家庭学習の時間や内容について指導した。
- ③ その他の学力向上の取組として
 - ・朝学習の実施(登校後15分間)
 - ・放課後スキルタイムの実施
 - ・長期休業中の補充学習の実施
 - ・家庭学習のよびかけ
 - ・自主学習ノートの提出徹底
 - ・読書活動の推進